

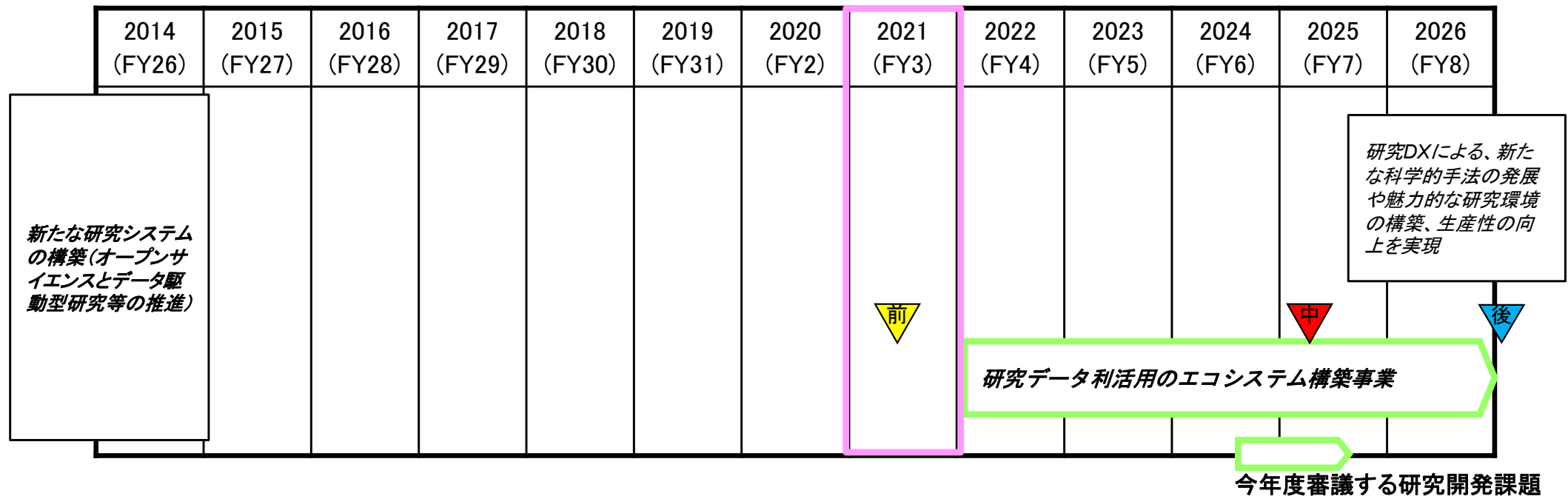
# 【情報科学技術関連】: 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化

資料2-1-1  
 科学技術・学術審議会  
 研究計画・評価分科会  
 (第80回) R4.3.3

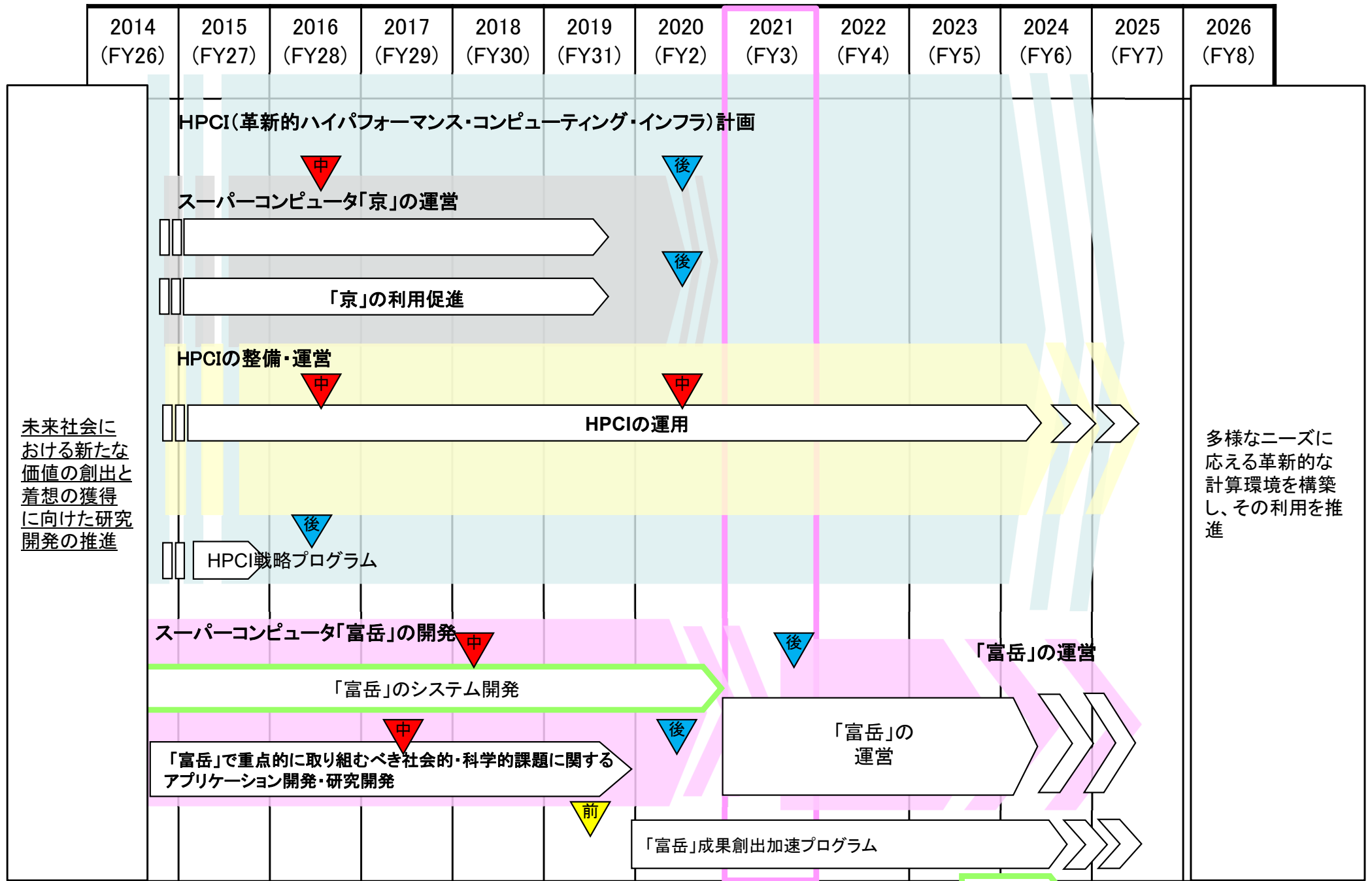
第6期科学技術・イノベーション基本計画:  
 第2章 Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策  
 2. 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化  
 (2) 新たな研究システムの構築(オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進)

社会全体のデジタル化や世界的なオープンサイエンスの潮流を捉えた研究そのもののDXを通じて、より付加価値の高い研究成果を創出し、我が国が存在感を発揮することを目指す。特に新型コロナウイルス感染症の研究においても、論文のオープンアクセス化やプレプリントの活用が更に拡大する中、研究プロセス全般で生まれるデータについて、戦略性を持って適切な共有と利活用を図るとともに、それによりインパクトの高い研究成果を創出していくための研究基盤の実現が求められる。

研究の現場において、高品質な研究データが取得され、これら研究データの横断的検索を可能にするプラットフォームの下で、自由な研究と多様性を尊重しつつ、オープン・アンド・クローズ戦略に基づいた研究データの管理・利活用を進める環境を整備する。特にデータの信頼性が確保される仕組みが不可欠となる。また、これらに基づく、最先端のデータ駆動型研究、AI駆動型研究の実施を促進するとともに、これらの新たな研究手法を支える情報科学技術の研究を進める。







未来社会における新たな価値の創出と着想の獲得に向けた研究開発の推進

多様なニーズに応える革新的な計算環境を構築し、その利用を推進